

教科名	英語	週時間数	4	学年	1年
使用教科書 副教材等	・教科書 NEW HORIZON English Course I (東京書籍) ・副教材 英語のパートナー (正進社) 英語のワークノート (東京書籍) 学習の達成 (新学社)				

教科のねらい	・英語を話したり書けたりするようになるための基礎を固める。 ・単語や文法を定着させ英語の表現力を身につける。 ・ペアワークやグループワークを通して、問題解決能力を伸ばし、相手のことを考えてコミュニケーションをとる姿勢を育てる。		
授業の進め方	・ペアワークやグループワーク、アクティビティを行う。 ・小学校で学んだ内容を含め、英語の基礎を固める。 ・音読、スピーチなどの表現活動を通じて、英語を「使える言語」として捉えさせる。 ・ALT によるアクティビティやインタビューテストを行う。		
定期考査	出題方針	授業内容を中心に観点別に出題する。	
	範囲 (予定)	1学期中間	Unit0 / Sounds and Letters 0 / Grammar for Communication 0 / Unit1/ Sounds and Letters 1 / Unit2 / Grammar for Communication 1
		1学期期末	Sounds and Letters 2 / Unit3 / Sounds and Letters 3 / Grammar for Communication 2 / Unit4 / Sounds and Letters 4 / Grammar for Communication 3
		2学期中間	Stage Activity 1 / 夏休み特集 / Unit5 / Real Life English 1 / Grammar for Communication 4 / Unit6 / Real Life English 2 / Grammar for Communication 5
		2学期期末	Unit7 / Real Life English 3 / Grammar for Communication 6 / Unit8 / Real Life English 4 / Stage Activity 2
		学年末	Unit9 / Real Life English 5 / Grammar for Communication 7/ Unit10 / Real Life English 6 / Grammar for Communication 8 / Learning Literature / Stage Activity 3
	主体的に学習に取り組む態度		授業態度、ペアワーク・グループワークへの取り組み、提出物、課題への取り組み、自主学習の成果等
	思考力・判断力・表現力		定期テスト、英作文、スピーチ等
知識・技能		定期テスト、単元テスト、単語テスト等	
学習方法 (先生からのアドバイス等)	自主的、積極的な学習姿勢が大切です。具体的には、次の授業のためのノートづくり（予習）、授業の復習、授業への積極的参加（ペアワークやグループワーク）、宿題や課題提出の徹底です。しっかり実践しましょう。とくに、英語は声に出すことがとても大切です。教科書や副教材の QR コードを読み取り、毎日英語をたくさん聞いてください。そして、発音をまねましょう。何度も繰り返し声に出して練習することで、英語が口から出やすくなりますし、音と文字が結びつくようになります。一緒に楽しく頑張りましょう！		

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	Unit0 Sounds and Letters 0 Grammar for Communication 0	・異なる場面での会話 ・英語の音と文字 ・英語の語順	◎挨拶をしたり、好きなものをたずね合ったりすることができる。 ◎小学校で習った表現を使ったり、読んだりできる。 ◎ローマ字が書ける。 ◎音と文字の関係を知り、単語を書き写すことができる。
	5	Unit1 Sounds and Letters 1 Unit2 Sounds and Letters 2 Grammar for Communication 1	・be 動詞・一般動詞の肯定文 ・2字1音、母音字の名前読み ・be 動詞・一般動詞・can の 疑問文、否定文	◎英語の語順を理解し、簡単な文を作ることができる。 ◎短い会話やスピーチを聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。
	6	Unit3 Sounds and Letters 3 Grammar for Communication 2	・疑問詞 what, who, how, when, where ・前置詞	◎身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。
	7	Unit4 Sounds and Letters 4 Grammar for Communication 3 Stage Activity 1	・命令文 ・疑問詞 how many, what time ・名詞	◎知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかをたずねたりすることができる。 ◎数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができる。 ◎自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。
	9	夏休み特集	・過去形の肯定文	◎夏休みの思い出を、簡単な絵日記でまとめることができる。
	10	Unit5 Real Life English 1 Grammar for Communication 4	・三人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文	◎自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ◎友達紹介のスピーチができる。 ◎コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取りことができる。
	11	Unit6 Real Life English 2 Grammar for Communication 5	・人称代名詞 ・疑問詞 whose, which ・Can I~? / Can you ~?	◎自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。 ◎身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。
2	11	Unit7 Real Life English 3 Grammar for Communication 6	・現在進行形の肯定文、疑問文、(否定文) ・感嘆文 ・Go along this street. Turn left at	◎今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 ◎感情の高ぶりを表すことができる。 ◎徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。
	12	Unit8 Real Life English 4 Stage Activity 2	・want [try, need など] to ・look+形容詞 ・What would you like? — I'd like	◎したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 ◎視覚的・聴覚的な判断について言うことができる。 ◎レストランで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 ◎好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。
	1	Unit9 Real Life English 5 Grammar for Communication 7	・一般動詞過去形の肯定文、否定文、疑問文 ・過去形の(不)規則変化	◎過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 ◎旅先からの絵はがきを書くことができる。
3	2	Unit10 Real Life English 6 Grammar for Communication 8	・be 動詞の過去形 ・過去進行形 ・There is [are] ... ・What's wrong? I have ...	◎過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ◎学校や家の近くにある施設や建物などについて言うことができる。 ◎症状やこれまでの出来事などを伝えることができる。
	3	Learning Literature Stage Activity 3 Let's Read		◎思い出に残った出来事について発表することができる。 ◎物語を聞いたり読んだりして、場面や登場人物の心情の変化を理解したり、気持ちを込めて音読したりすることができる。

